陣内俊　Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2020 年 4-6 月号
Vol.51

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈りと尊いご支援を心より感謝いたします。

今回のパンデミックの影響を受けていない方はだれもいないのではないかと思いますが、私たち家族も、様々な影響を受けています。教会での奉仕や大学での講義なども見送られたりオンラインでの授業に切り替えたり、、、といった私（俊）の働きや仕事の変化もありましたし、家族生活も影響を受けました。日曜日に家族で参加する礼拝は、家庭でのオンライン礼拝になり、病院、公園、図書館といった社会インフラが閉鎖した結果、家族で過ごす時間のあり方も変化しました。また、授乳中の妻（純子）の乳腺炎が発症しないように、子どもが夜中に突然発熱したりしないように、普段以上に切実に祈る日々でした。幸い、妻の実家や姉家族、教会の方々の支えの中で、3 月から 5 月までの間、大過なく暮らすことができたことを、当たり前ではない恵みとして感謝しています。支援者の皆様におかれましても、どうぞ感染症予防を慣行しつつ、お身体に気をつけてお過ごしください。皆様の守りと祝福をお祈りしております。

2 歳 9 ヶ月になった長女のかなえと、生まれて 4 ヶ月、まだ教会（の建物）に行ったことない次女のななみ。

FVI を通じた、バングラデシュでのコロナ対策活動への送金

4 月 13 日、FVI の柳沢美登里さんに、30 年来のバングラデシュの友人からメールが届きました。彼が始めた人道支援団体「Uttaran ウットラン」が、パンデミック下のバングラデシュの農村部で奮闘している、という内容でした。バングラデシュは人口 1,000 万人以上の国としては、世界で最も人口密度が高く、農村部には基本的な医療や保健衛生の施設や機材、器具も揃っていません。そのような中人々は日々の生活にも困窮し、感染抑制のための物的・人的資源が圧倒的に不足しています。ウットランは独自に手指洗浄ポイントの設置、消毒剤や衛生啓発ポスターの配布などの新型コロナウィルス対策活動を展開しました。地元政府もその活動を認知し、現在は協力しながら活動をしています。日本もまた大変な状況の中ですから、他国の緊急支援を大々的に要請するのは控え、FVI にこれまで関わってくださった教会にメールのみでこの状況をお伝えし、1 ヶ月の期間限定で支援金の要請をしました。**驚くべき事に、日本の教会や個人の皆様から、1 ヶ月の間に、なんと 147 万 1 千円の支援金が寄せられました。これに本年度の FVI の海外渡航予算から 15 万円を計上し、162 万 1 千円を送金いたしました。**バングラデシュの農村部では職を失い日々の食物にも事欠く状況が出てきているなか、緊急の食料や医療キットを配布するウットランの活動を通して、日本のからの「与える愛」が時宜に適って実践されたことを喜ぶとともに、志を共にする日本の方々の犠牲的な愛に心打たれました。政府からの給付金の 10 万円をすべてバングラデシュの方々のためにと献げてくださった支援者の方もいました。自分自身が困難な状況でこそ、与える生き方の真価が問われます。このような生き方をする日本の方々がいる、ということが私の活動にとっても大きな励ましとなります。

送金直後の 5 月後半、この地域に 21 年ぶりの超大型サイクロンが上陸し、暴風と大雨により多くの人々の家が壊れ、河川の氾濫で田畑が損害を受けました。**支援金で、シャトキラ県の 4 つの村の最も貧しく緊急対応が必要だった区域の 167 家族の 1 か月分の食料、125 家族分の感染防止衛生品一式、さらに保健活動をする村や郡レベルの医療・看護関係者に 65 着の感染防護服と 3,250 個のマスクや医療用手袋が支給されたとの報告が届きました。**バングラデシュの活動については今後、FVI のホームページやニュースレターにて広報いたしますので、そちらをお読みになり、今後もお祈りくださいますと幸いです。

彼らの満ちあふれる喜びと極度の貧しさは、苦しみによる激しい試練の中にあってもあふれ出て、惜しみなく施す富となりました。　ローマ人への手紙 8 章 2 節

感染防止キットを受け取る農村の女性／サイクロンの大きな被害を受けた地区にも、日本の支援者の方々の献金で食糧や感染防護服が届けられた。

支援者の皆様へのYouTube動画メッセージ

文字だけではなかなか伝わらない働きの現実や生活の息づかいを、動画で分かち合わせていただきます。下のQRコードを読み取っていただきますと、支援者の皆様だけが視聴できる限定公開のYouTubeでの動画メッセージをご覧いただけます。

新型コロナウィルス下での小さな思索

新型コロナウィルスという「問題」を解決するのは大切なことであり、医療の現場で働く方々、政治家や研究者、そしてかつて私が働いていた保健衛生行政のために祈っています。また、一人ひとりが感染症予防を実践するのも大切です。一方で、良くも悪くも今後の世界が変わることは間違いないでしょう。そして、「なぜ」こんなことが起きたか、私は答えをもっていません。

ホロコーストを生き延びたユダヤ人のヴィクトール・フランクルは**「私たちは人生に意味を問う側にいない。逆に人生が私たちに問うているのだ」**と言いました。新型コロナウィルスという「自然」が、私たち人類の側に「問題」を提起していて、私たちがそれにどう応答していくか、人類全体が宿題を与えられていると私は捉えています。グローバリゼーションによって人、モノ、財、情報が何重にも複雑に折り重なり繋がっていたことを、私たちは再認識しました。高まる環境負荷により生物多様性が失われた結果、ウィルスや細菌などの微生物にとって、「最大限に増え広がり世界中に移動してくれる理想的な宿主」である人類が最も魅力的な住み処になりました。家畜の密飼いは微生物変異の「最高の培養室」になりました。私たちのライフスタイルが一朝一夕に変わるものではありませんが、このウィルスの流行が「乗り越え、解決すべき問題」だとばかり思い込み、この地球に棲む多様なメンバーの一員としての人類が過去100年にしてきたことの「症状」であることに気づくことができなければ、今回のウィルスを対症療法的に凌いだとしても、また別のパンデミックが必ず繰り返すだろう、とイタリア人作家パウロ・ジョルダーノ氏は著書『コロナ時代の僕ら』のなかで言っています。私もそう思います。

「コロナ時代」という「SF的な現実」のなかで、それでも大切なことを、大切なこととして保存するには何をすべきなのか、「産湯と共に赤子を流す」ように、本質的なことをも反故にしない形で感染症対策を徹底するには、どうすれば良いのか、考えるべきことは山積みです。先ほども申しましたように私は「答え」を持ち合わせていません。多くの人々がそうであるように、不透明な明日を目の前に、「おろおろしながら」今日を生き延びることの連続です。しかしながら、このような魂の暗闇の日々に振り返り、祈り、考え抜くことにかけては、かつての鬱病療養での経験が生きています。病気への耐性はありませんが、「悩み、迷い続ける日々」に、私は耐性があります。私はこれからも支援者の皆様とともに迷い、「うめいて（ローマ8：22）」いきたいと思います。

「自分たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。
自分たちの心を、両手とともに、天におられる神に向けて上げよう。」哀歌3章40〜41節

祈りの課題

◇コロナ禍で今年後半以降の予定の多くが白紙になりました。主が導かれるとおりに、神の働きを担っていくことができるように。

◇コロナ禍で FVI と「支える会」の財政も大きな影響を受けています。主が経済的にもこの働きを支え、活動が続けていけるようにお祈りください。

◇体調管理をうつ病の再発などのリスクから守られ、俊が健康に神に奉仕出来るように。

◇純子が乳腺炎から守られるように。かなえ、ななみが病気などから守られるように。

2020 年 7 月以降の主な活動予定

月　日	内　容	場所、補足
7 月第一週	キリスト教週間で連続講演	関東学院中高（動画での奉仕）
9 月 13 日	包括宣教セミナー／ワークショップ	登戸エクレシア教会（川崎市）
11 月 13～14	よにでしセミナー第 4 期	芸森スタジオ（札幌市）
随時継続的に	包括宣教の各種活動	国内各地

＊上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼もこちらへ）

陣内への Email　shun@karashi.net　**無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索**

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

■ゆうちょ銀行口座番号　12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」

■他行からの振込　店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825　「陣内俊を支える会」

■郵貯振替口座番号　00830-1-142825　名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

＊振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。

＊振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）

＊Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。